

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴
ブロイラー専業47000羽	人 2	ブロイラー 47,000 羽 年間出荷羽数 258,500 羽	1. ウインドレス鶏舎、平飼い 2. 同一鶏舎一貫飼育方式 3. 自動給餌機利用 4. LED色調調整 5. 雇用導入あり(1人)
経営目標	1 農業総収入 2 農業経営費 3 農業所得	154,899 千円 148,291 千円 6,607 千円	4 1日当たり農業所得 13,532 円 5 1人当たり年間労働時間 1,953 時間
飼育方式と畜舎施設		技術指標	
・飼育方式 1/2補助事業を活用(トラックは資金対応) 同一鶏舎一貫飼育方式 (オールインオールアウト) ・鶏舎及び付帯施設 鶏舎(平飼) 自動給餌機 管理舎 堆肥舎(堆積、開放式)		1、出荷日齢 43 日、空舎期間 23 日 2、1回当たり餌付羽数 48,410 羽 添え雛 3% 3、出荷率 100%(103% * 育成率97%) 4、1回3.3㎡当たり餌付け羽数 夏50羽、冬55羽 5、鶏舎年間回転率 5.5 回 6、1羽当たり平均出荷体重 3.1 kg 7、一日平均増体重 71 g 8、飼料要求率 1.67 9、フodダクシヨンスコア(PS) 432 ※出荷率(%)×1羽出荷体重(kg)÷出荷日齢÷飼料要求率×100	

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割	有 合	取得価格	法定 耐用 年数	年 間 償 却 額
						千円	年	千円
建物・施設	鶏舎(ウインドレス)	6	木造 620㎡×5棟 3102 m <sup>2</sup>	1		93,060	17	5,474
	機械器具庫	1	鉄骨ガルバリウム 47m <sup>2</sup>	1		1,387	31	45
	堆肥舎	1	鉄骨ガルバリウム177 m <sup>2</sup>	1		5,310	17	312
	計					99,757		5,831
農 機 具	自動給餌機	10	2台/棟	1		3,812	7	545
	飼料搬送機	5	タンク2基連結型 1基/棟	1		1,081	7	154
	自動給水器	5	4列/棟 1基/棟	1		3,149	7	450
	餌付け皿	282	丸型 6個/1000羽	1		419	7	60
	飲水器	282	6.5リットル 6個/1000羽	1		403	7	58
	ガスブルーダー	47	1個/1,000羽用	1		1,654	7	236
	動力噴霧器	1		1		250	7	36
	細霧装置	5		1		1,650	7	236
	換気扇	47	1200シャッター付き	1		2,637	7	377
	空調自立盤	5	制御盤	1		9,900	7	1,414
	その他付帯施設	1		1		2,500	7	357
	発電機	1	100kw	1		2,500	7	357
	ショベルローダー	1	0.5m <sup>3</sup>	1		4,417	7	631
	トラック	1	2tダンプ	1		2,855	5	571
計					37,225		5,481	
総計					136,982		11,312	

1/2補助事業を活用(トラックは資金対応)

### 3. 畜舎及び付帯施設算出基礎

区分	構造・形式	規模	算出基礎
鶏舎	木造ガルバリウム	620.4㎡×5棟 3,102㎡	9m×69m×5棟 50羽／3.3㎡
機械器具庫	鉄骨ガルバリウム	47㎡	5.4m×8.7m
堆肥舎	鉄骨ガルバリウム	177㎡	発酵施設147㎡(堆積高1.5m) ストックヤード30㎡(堆積高1.5m)
飼料タンク	10t	5基	飼料会社より無償提供
自動給餌機	ローレベル	10台	2台／棟
飼料搬送機	フレキシブルコンベア	5台	タンク2台連結
自動給水器	4列／棟	5棟	
餌付け皿	丸型	282個	6個/1,000羽
飲水器	6.5リットル	282個	6個/1,000羽
ガスブルーダー		72個	1個/1,000羽
動力噴霧器		1台	
細霧装置		5組	一式/棟
換気扇	1200シャッター付き	47台	1台／1000羽
空調自立盤	制御盤	5面	
発電機	100kw	1台	
ショベルローダー	0.5㎡	1台	
トラック	2tダンプ	1台	

1／2補助事業を活用(トラックは資金対応)

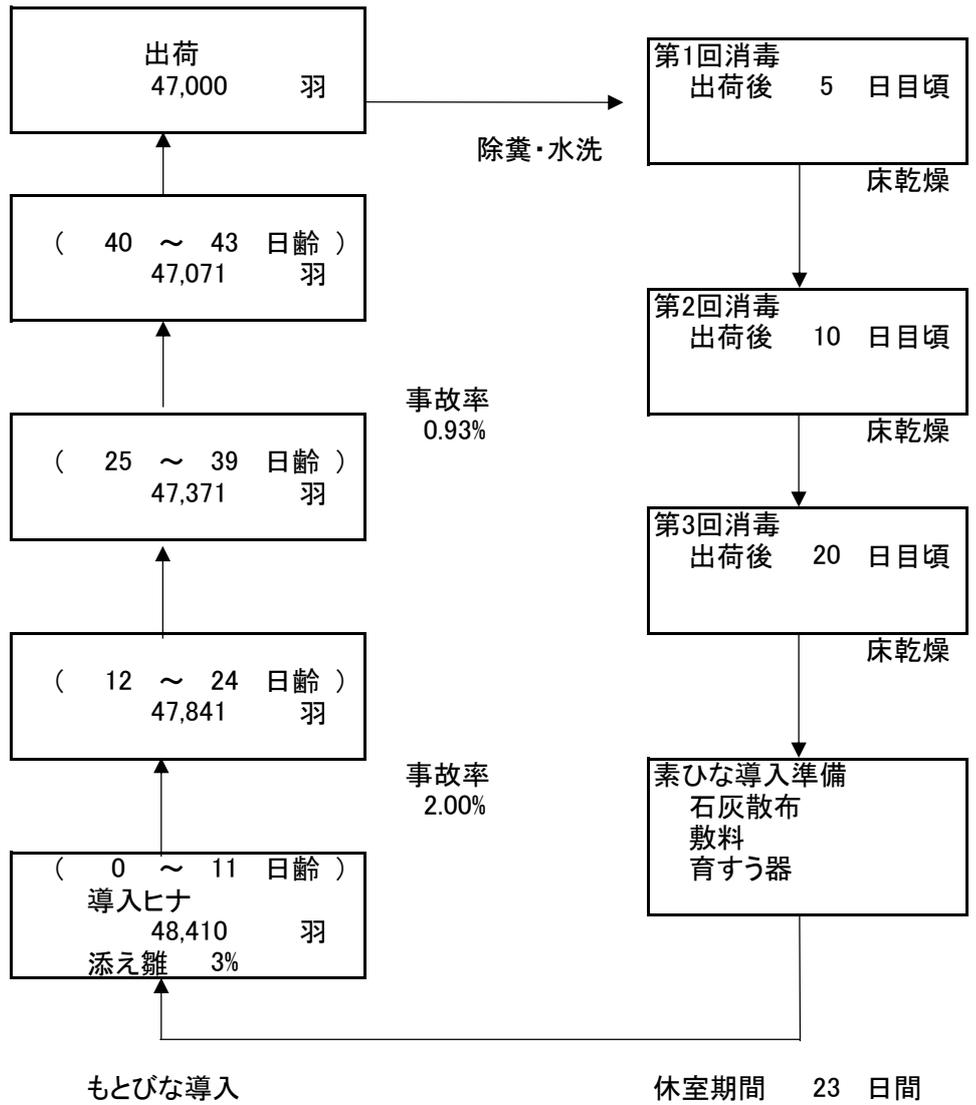
4-1. 技術体系

常時羽数 47,000 羽

1) 飼養フローチャート

回転率 5.5 回

年間出荷羽数  
258,500 羽



4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項
導入品種	<p>1、素ひなの導入</p> <p>2、品 種</p>	<p>(1)衛生管理の徹底しているふ化場の選定</p> <p>(2)鶏舎毎に導入</p> <p>(1)ブロイラー専用種</p>
飼育密度	1、適正な飼育密度	<p>(1)夏季3.3㎡当たり50羽</p> <p>(2)冬及びその他の季節 3.3㎡当たり55羽</p> <p>(3)年間平均3.3㎡当たり52.5羽 素ひなの銘柄、気象条件、出荷体重により決定する。</p>
飼料給与	<p>1、餌付～11日齢</p> <p>1/2補助事業を活用(トラックは資金対応)</p> <p>2、11日齢～24日齢</p> <p>3、25日齢～39日齢</p> <p>4、40日齢～出荷</p>	<p>(1)配合飼料(スターター)</p> <p>(2)飼料成分 CP 23% ME 2, 957kcal/kg</p> <p>(3)不断給餌</p> <p>(4)給与法 ガスプルーダー1個に1,000羽</p> <p>①餌付～3日齢 1,000羽当たり給餌箱 6個 給水器 6個 餌付け紙前面</p> <p>②4日齢～10日齢 自動給餌器、給水器と併用 自動給餌器は60羽に1個 自動給水器は100羽に1個</p> <p>(1)配合飼料</p> <p>(2)不断給餌</p> <p>(3)飼料成分 CP 21.5% ME 3,050kcal/kg</p> <p>(4)給与法 自動給餌、給水</p> <p>(1)配合飼料</p> <p>(2)不断給餌</p> <p>(3)飼料成分 CP 19.5% ME 3,100kcal/kg</p> <p>(4)給与法 自動給餌、給水</p> <p>(1)配合飼料</p> <p>(2)不断給餌</p> <p>(3)飼料成分 CP 18% ME 3,125kcal/kg</p> <p>(4)給与法 自動給餌、給水</p>

4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項			
一般管理	1、給温	(1) 傘型育すう器（傘型ブリーダー） 1基 1,000羽			
		(2) 餌付け後1～2週間はとくに夜間の温度に注意			
		(3) ひなの状態で多少温度を加減する。			
		(4) 給温期間 夏季 1週間 冬季 2～3週間			
		(5) ステージ別の温湿度			
		温度(°C)		湿度(%)	
		週 令	育雛器内	室内	
		えつけ～3日令	32	28	70～80%
		4～7日令	27	26	60～80
		2週間	25	24	40～65
3週間	23	20			
4週間	21	18			
一般管理	2、換気	(1) カーテンで調節（自動カーテン、インバーター換気扇）			
	3、照明	(1) 24時間照明もよいが、省エネ面から間欠照明を推奨 LEDの色調変更(3週齢まで青色、4週齢～水色)			
	4、防暑対策	(1) 寒冷紗の設置 (2) 西陽の遮光 (3) 屋根の断熱 (4) 冷気の送風			
	5、除糞と入すう準備	敷料はチップ、ノクス、モミガラを準備			
	衛生管理	1、入雛時の消毒 (鶏舎内部、育雛器具)	(1) オールアウト後の鶏糞・残餌の完全除去 水洗(水量20L/3.3㎡で加圧水洗浄) (2) 第1回消毒: 洗浄消毒(逆性石けん等)・乾燥 (3) 第2回消毒: 主に床面消毒(ゾール剤)・乾燥 (4) 第3回消毒: 鶏舎内消毒(逆石けん、ハロゲン剤など)・乾燥 (5) 第4回消毒: 鶏舎内及び鶏舎周囲の石灰散布 (6) 器具機材の水洗消毒		

4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項															
衛生管理	<p>2、日常の衛生管理</p> <p>3、各種ワクチネーション</p>	<p>(1) 鶏舎ごと専用長靴、作業衣使用</p> <p>(2) 死亡鶏の搬出、異常鶏の淘汰</p> <p>(3) ネズミ、ハエ等の駆除</p> <p>(4) 野鳥等の野生動物の鶏舎、飼料保管庫、堆肥舎、死体保管庫等への侵入防止</p> <p>ワクチンプログラム(例)</p> <table border="1" data-bbox="683 577 1166 808"> <tr> <td>0</td> <td>7-10</td> <td>14</td> <td>21</td> <td>28日齢</td> </tr> <tr> <td>MD</td> <td>IB</td> <td>ND</td> <td>IBD</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td>FP,IB</td> <td></td> <td>IBD</td> <td></td> <td>IB</td> </tr> </table> <p>略字注釈</p> <p>MD: マレック病    FP: 鶏痘</p> <p>IB: 伝染性気管支炎    ND: ニューカッスル病</p> <p>IBD: 伝染性ファブリキウス嚢病</p>	0	7-10	14	21	28日齢	MD	IB	ND	IBD	ND	FP,IB		IBD		IB
0	7-10	14	21	28日齢													
MD	IB	ND	IBD	ND													
FP,IB		IBD		IB													
環境及び食の安全安心対策	<p>1、鶏舎環境の整備</p> <p>2、ふんの適正利用促進</p> <p>3、安全安心のための管理</p>	<p>(1) 鶏舎周辺の環境整備と美化</p> <p>(2) 鶏舎の清潔(飲水の漏水防止)、乾燥、換気</p> <p>(3) 鶏舎の定期消毒</p> <p>(1) ふんの適正処理</p> <p>(2) 畜舎、堆肥舎等からのふん流出防止の徹底</p> <p>(3) 「農業環境規範(家畜の飼養・生産)」での確認、記帳</p> <p>(1) 管理、記帳の徹底</p> <p>(2) 農業環境規範(家畜の飼養・生産)の確認、記帳</p> <p>(3) 飼養衛生管理基準の徹底</p> <p>(4) 飼料添加剤、医薬品等の適正管理</p> <p>(5) アニマルウェルフェアの考え方に基づく飼養管理</p>															

5. 作業別・月別労働時間

作業別	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
ブローラー-專業経営ノ月																									
飼料給与・給水	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
初生雛管理	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
衛生管理	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
除糞	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
清掃・消毒	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
入雛準備	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
経営管理	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
その他	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
計	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7
旬計	107	107	118	107	107	86	107	107	118	107	107	118	107	107	118	107	107	107	118	107	107	107	107	118	3906
月計	332	299.6	331.7	321	331.7	321	332	331.7	321	331.7	321	331.7	332	331.7	321	331.7	321	331.7	321	331.7	321	332	332	3906	3906

6. 総労働時間

作業別	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
	107	107	118	107	107	85.6	107	107	118	107	107	118	107	107	118	107	107	118	107	107	118	107	107	118	
総労働時間	107	107	118	107	107	85.6	107	107	118	107	107	118	107	107	118	107	107	118	107	107	118	107	107	118	3906
うち家族労働	107	107	118	107	107	85.6	107	107	118	107	107	118	107	107	118	107	107	118	107	107	118	107	107	118	3906
うち雇用労働	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0